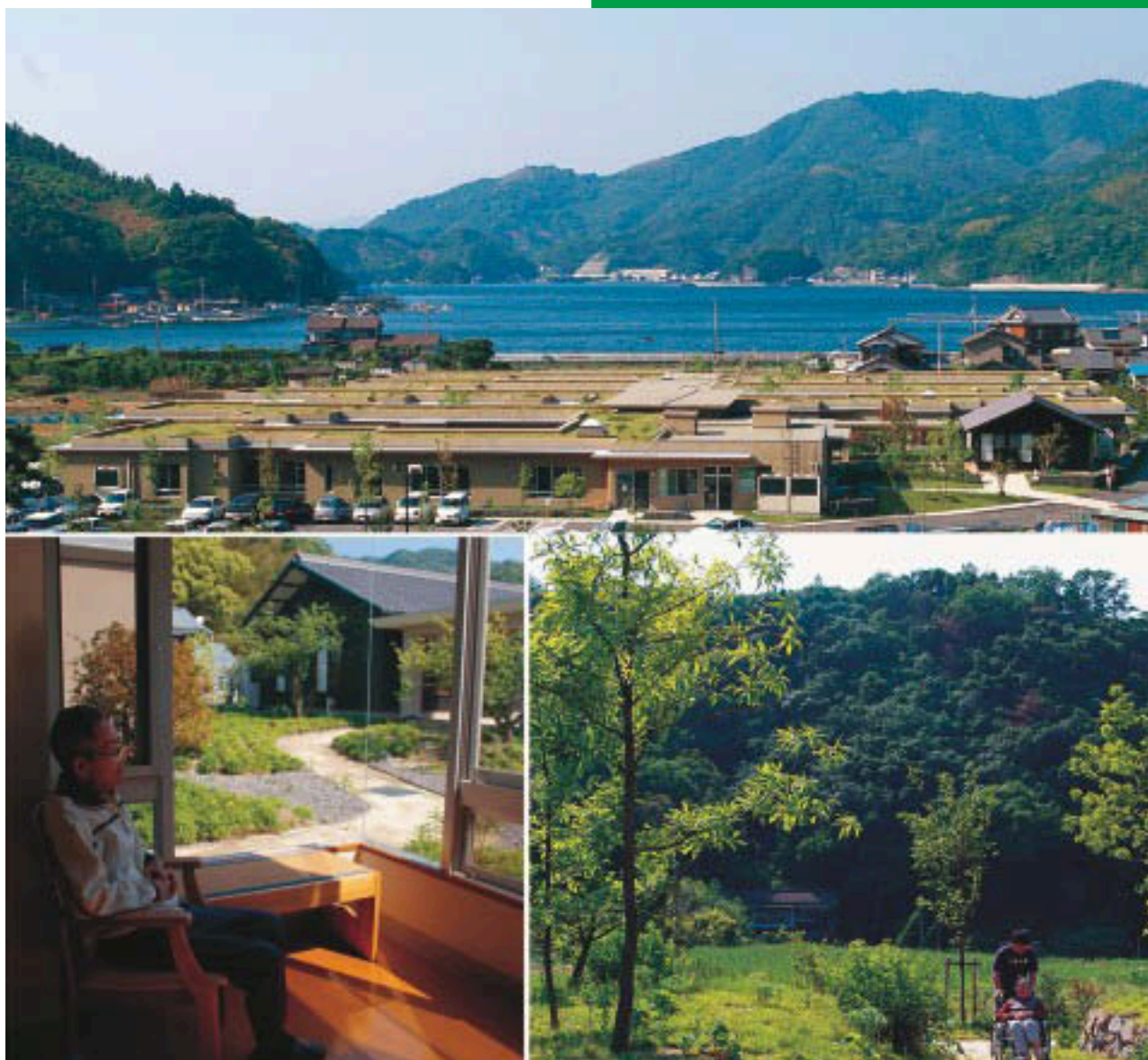


CLA journal



■ 特集 / 2008年ランドスケープコンサルタンツ協会賞 (CLA 賞)

Special Edition : CLA AWARD 2008

社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会

社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会

基本理念

我々の使命は、新たな環境認識のもとに、人と自然との関係を科学的、芸術的に把握し、環境と調和・融合した新しい秩序づくりに積極的に挑戦することによって、安全で豊かな環境の創出、すなわち、「みどりの環境文化」の形成に寄与することです。

1. ランドスケープアーキテクチャーの専門家集団

我々は、日本におけるランドスケープアーキテクチャーの思想と技術を継承し、発展させるために組織された専門家集団です。

2. 新しい技術の開発と研鑽

我々は、来たるべき21世紀の社会に対する責任を十分認識し、技術の高度化と多様化に対応した新しい技術の開発と研鑽を推進し、技術競争の時代に対応します。

3. 社会的信頼の獲得

我々は、社会的倫理観のもとに、公正な技術競争を通し、内外の要請にも応えられる自立した職能として社会的信頼を獲得すべく行動します。

4. 開かれた技術団体

我々は、内外の関連技術者との交流を通して、協調関係を積極的に推進し、多様な価値観を内包する開かれた技術団体として広く展開します。

5. 魅力ある創造的職能

我々は、経営体質の向上と安定を図ることによって、魅力ある創造的職能として広く社会から信頼されることをめざします。

平成7年5月
「新しい環境文化の創造—造園コンサルタントビジョン—」より

目 次

特集：2008年ランドスケープコンサルタンツ協会賞（CLA 賞）

■最優秀賞

【一般部 設計部門】

終の住処は故郷の風景—介護老人福祉施設「あさひ苑」の造園設計 ————— 2

■優秀賞

【テーマ部 設計部門】

小公園のリニューアルに関する一連の計画・設計 ————— 4

【テーマ部 調査・設計部門】

マンション緑地のリニューアルに関する一連の調査・計画 ————— 6

■奨励賞

【一般部 設計部門】

ヌーヴェル赤羽台のランドスケープ ————— 8

びゅうヴェルジェ安中榛名 ————— 10

【テーマ部 設計部門】

四番町スクエア ～大正ロマンに会うまちづくり～ ————— 12

■特別賞

【一般部 設計部門】

サムソンエバーランド ズートピア「フレンドリーモンキーバレー」 ————— 14

■受賞技術者プロフィール ————— 16

■CLA 賞の趣旨と募集・選考のあらまし ————— 18

平成20年度支部連絡会議報告／19
会員名簿／20
トピック／23
お知らせ／24
編集後記／24

表紙の Photo Story

2008年ランドスケープコンサルタンツ協会賞最優秀賞を受賞したのは「老人福祉施設『あさひ苑』造園設計」。作品評にもあるとおり「緑から受ける気持ちよい刺激」が生み出した、人と植物とのあたたかい関係が見える作品となっている。一見すると地味だが、植栽設計に携わった専門家の豊かな経験と優れた技量を見て取ることができる。ランドスケープアーキテクトの職能の本質を再認識させてくれる優れた作品である。詳細は2～3ページ。



一終の住処は故郷の風景— 介護老人福祉施設「あさひ苑」の造園設計

株式会社愛植物設計事務所

□「あさひ苑」の造園空間の意味と狙い

高齢化社会を迎え、多くのお年寄りにとっては老人ホームが「終いの住い」となる。人は年を取ったり、病気をしたりすると気力が減退する。生きる気力が起こらない単調な空間は、人の気持ちを減らさせ、認知症が始まり進行しやすい。環境学からみたボケない家や地域とは、

- ①高い塀が無い家
- ②豊かな食事のある家
- ③住宅と屋外のつながりが多彩な家
- ④五感で感じられる家
- ⑤人の交流のある地域
- ⑥きれいな風景や馴染みの風景のある地域

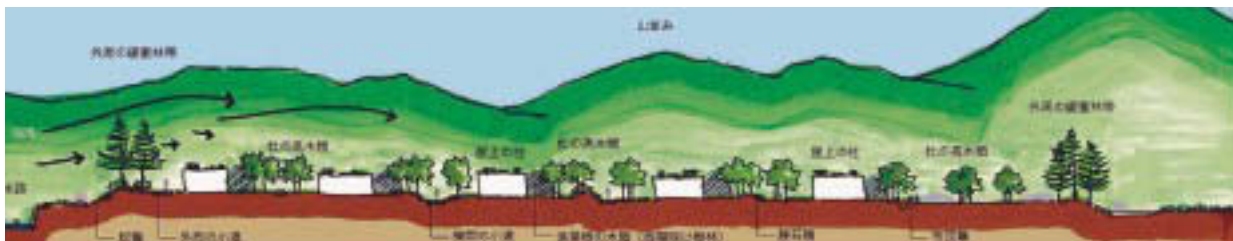
⑦豊かな季節感や四季の香りのある地域

であるという(あさひ苑竣工記念講演、「老いて暮すこと」、大阪市立大学大学院生活科学研究科、三浦研准教授より)。

植物は、日々刻々変化して人の感性を刺激するので、老人ホームや介護施設では、植物の選択や配置の巧拙が入居者の精神衛生に大きな影響を与える。しかし、一般に介護施設などでの認知症への対応は、失われた「身体機能の介護」が主目的で、植物や周りの風景などから受ける、精神衛生の向上効果には目が向けられていない。本来介護施設は病院ではなく、入居者の個性を支えて“その人らしさ”を取り戻すための施設である。そのため施設には、「身体の介護」に加えて、「日々



宇和海の小湾と故郷の山並や畑に囲まれた敷地に施設と社をほめ込む



見慣れた樹や草や山並みなどで、それらの風景がどの部屋からも見えるように配置する

作品概要

作品名：介護老人福祉施設「あさひ苑」造園設計
所在地：愛媛県宇和島市三浦西
植生域：ヤブツバキクラス域の臨海谷戸部
発注者：社会福祉法人 愛心会
建築設計・監理：コスモス設計／茂木聡
造園設計・監理：憐愛植物設計事務所／山本紀久，板垣範彦，藤田泰介
建築施工：前田建設／中村竹夫
造園施工：双葉造園／鬼頭慎一，比與森睦夫
橋造園／奥山聖治
工期：造園計画・設計監理2005年4月～2006年12月
造園施工2006年5月～2006年12月 開設2007年1月
規模：敷地面積約1.2ha
建築施設：コンクリート平屋70室約3,600m²

作品評

建築と屋外の緑が生活に入り込み、見るだけでなく、入居者の感性を刺激する緑の意図が実践され、作者の言う「緑から受ける気持ちい刺激」による、人と植物とのあたたかい関係が見える作品である。建物によって除かれた土を施設の屋上に再生し、その緑化に宇和島市天然記念物のウバメガシの種子やアカマツの苗を用い、植栽設計に携わった専門家の豊かな経験と優れた技量を見て取ることができた。施設職員への設計意図の伝達、緑化研修など、管理・運営にも配慮された作品である。日常やさしく身近に自然を感じながら暮らすことのできる、福祉の施設にふさわしい、植物の選択や配置となっており、ここに暮らす人たちに、大きな刺激と豊かさを提供している。屋上の種子や苗が生え、外周の植物が生い茂るとやがて建物が消え、里山と一体となる時がこの施設の完成の姿であろう。

変化するみどりから気持ちの良い刺激を受けられる暮らしの空間」が不可欠である。

「あさひ苑」では、日々の暮らしのなかで、老人が生きる喜びを持てる気持ちの良い空間づくりの目標として、

- ①豊かな季節感が実感できる空間
- ②馴染みのある日常性を楽しめる空間
- ③五感が刺激される空間 の3点に置いた。

「あさひ苑」はこのような考えのもとに、具体的に目標とする風景を、“入居者が輝いた若き時代に見慣れ

た故郷の風景”とした。

“終いの住みかは故郷の風景”を目標にして構成した「あさひ苑」のみどりは、植物を通して四季を感じ、その話題が日々の生活に持ち込まれるように、周辺の山並みのみどりと同じ樹木を骨格にして、見慣れた果樹や故郷の花々が、どの部屋からも見えるように配置している。それらの植物は職員により室内に飾られ、食卓に持ちこまれ、“触り”“香り”“食べる”ことによって、さらに感情が刺激されることを想定した。

■地場産の材料を用いる

馴染みのある故郷の風景をつくるために地場産の材料を用いる。これには地域に詳しい人間とのコラボレーションが必要である。ウバメガシの種子採取は地元造園業者との連携により実現した



中庭の郷土のみどりの杜を縫う草縁の小径



宇和島の段畑を代表する水ヶ浦地区「遊子の段畑」全景（1957年撮影）



宇和島市天然記念物「堂崎のウバメガシ樹叢」の種子を集める



屋上に播種したウバメガシが発芽した（2008年5月）



中庭の取付部の目印となる地場産腰石積の小丘

■利用の現状

施設開設後、ほぼ1年半が経過したが、反応の違いはあるものの、大半の住人は自分が輝いていた頃の風景が部屋からも回遊園路からも感じ取れることを喜び、それは、俳句の内容や草取りをする行為などにも表れているという。窓辺の風景や「杜」が、施設の住人に生きる喜びを与えているとすれば、老人介護施設の緑が果たす役割は極めて大きいといえる

■施設を活かすための主旨説明と研修の実践

2006年1月12日の施設の供用開始に先立ち、すでに準備・待機している職員に対して、造園設計者が施設内容の具体とその使い方、活かし方を解説した



屋上緑化の目的と意味を全員で確認



車椅子で故郷の小径に憩う



どの部屋からも見える懐かしい風景を楽しむ



小公園のリニューアルに関する一連の計画・設計

株式会社グラック 劔田和良・白井浩司

□ 作品の概要

本作品は、平成15年から平成18年にかけて実施された公園リニューアルのための一連の計画・設計である。立地環境の異なる3つの小公園を事例とし、リニューアル計画・設計のプロセスで得た共通の認識を整理したものである。自治体が行う公園整備計画の中でも「リニューアル」という今日的なランドスケープの課題に応えていくうえで重要なポイントとなると考えている。

□ 公園リニューアルの特徴

既存公園で大きく育った“みどり”や利用者に愛され使われてきた“公園施設”などの「物のストック」、集い・語らいの“場”や利用者の記憶に残る“風景”などの「事のストック」を活かすことが、リニューアル整備の大きなポイントである。「物」をリサイクルすることで経済的に、「事」を活かすことで既存の公園で培われたコミュニティや記憶を継承することができるこ

とは新設整備と異なる大きなメリットである。また、公園周辺の街・人・生活の様相が変化している中、今のニーズに対応した公園に改変することで、利用者を増やし、地域のイメージを向上させることができる。

リニューアルの企画に際しては、直接的・現象的な動機（既存の公園に対する住民の要望・苦情、犯罪の危険性の高まり、施設の老朽化、樹木の太木化・過密化、管理費の増加など）に加え、再生・創動的な動機（公園周辺の街・人・生活の変化に対応した新たな環境機能の必要性など）を満たすことが重要である。また、自然、生活、空間、歴史、景観という5つの視点で公園ストックを読み取ることが重要であると考えた。

□ 公園リニューアル事例

1. 桜川公園のリニューアル

ビジネス街と住宅地の接点にあり、都心駅前（地下鉄）にあるという立地特性が活かされていなかった公



〈明るさと開放感の演出〉
歩道と公園の一体化を図り、段差を解消し、公園内へのアクセス性の良い空間に改修を行った。
ビジネスマンの憩いの場、地域住民のコミュニティレクリエーションの場として整備を行った。



1. 桜川公園



〈みどりのデザイン〉
みどりのボリュームを確保し、広場の象徴となるような樹形の美しい樹木を保存することで景観と趣き歴史を継承する空間づくりを行った。



作品概要

1. 桜川公園
所在地：東京都中央区入船
発注・設計企画：中央区
計画・設計：㈱グラック（担当/釧田和良 白井浩司）
設計期間：2003年6月～2004年3月
規模：約5214 m²
主要施設：さくら広場、多目的広場、芝生広場、遊具、休憩施設、植栽（既存樹：ソメイヨシノ、イチヨウ、メタセコイヤ他）
2. あかつき公園
所在地：東京都中央区築地
発注・設計企画：中央区
計画・設計：㈱グラック（担当/釧田和良 白井浩司）
設計期間：2005年6月～2006年3月
規模：約2038 m²
主要施設：遊具（ターザンロープ（移設・新設）、石の山、タイヤタワー、土管、クライミング遊具（既設）、植栽（既存樹：ケヤキ他）
3. 東大泉児童遊園
所在地：東京都練馬区東大泉
発注・設計企画：練馬区
計画・設計：㈱グラック（担当/釧田和良 白井浩司 多賀俊介）
設計期間：2006年4月～2006年8月
規模：約423 m²
主要施設：幼児用遊具（砂場、ブランコ、滑り台）、植栽（既存樹：ソメイヨシノ他）

作品評

当作品はランドスケープの仕事としては、最も日常的かつ基本的な街区公園規模の小公園の設計を取り上げている。街区公園は現在のパークシステムのなかでは、最小単位であるものの最大要素でもある。小公園の設計はその規模から、往々にして初心者入門編に見られがちであるが実際はかなり難しい業務である。それは、我々の生活に密着した都市空間であるがゆえ要求される機能・要望が多い反面、立地特性がなかなか読み切れない場合や各種の制約が多いからである。

そのような中、本作品は改修整備のメリットや方法論について、丹念に考察を進めている。その方法論において、リニューアルと新設との違いを明らかにし、リニューアルの創造的動機づけを導き出している。さらに既存公園に見え隠れするストックについて、自然軸、景観軸、生活軸、歴史軸、空間軸の五つの視点を設け、設計の手掛かりとデザイン方針を丁寧に検討し、これからの求められていく公園の設計論を示している。このような地道で入念な設計姿勢と、それを実践したことが評価され本作品は優秀賞を受賞した。

園を、ビジネスマンや地域住民など今の利用者ニーズに対応した公園に改善することを目的とした。既存のみどりや地形（段差）を充分活かし、リニューアルを行った事例である。

2. あかつき公園のリニューアル

子育て世代の流入が著しい地区にあり、子どもの遊び場需要が高まっている中、ビルの谷間という立地環境を活かして、かつての子どもの遊び場であった「空き地」をモチーフとして計画を行った。好奇心や冒険

心をくすぐる遊び場づくりを行うことを目指した事例である。

3. 東大泉児童遊園のリニューアル

閑静な住宅街にあり、開園後約40年を経過した公園である。暗くて見通しの悪い環境を改善し「地域の庭」として利用されることを目指し計画を行った。計画においては住民説明会の中で、できるだけ住民の生の意見を吸収し、計画に反映させることで利用者ニーズを満たすことを目指した事例である。

2. あかつき公園



〈「空き地」の演出〉

空き地をモチーフとした遊び場づくりを行った。子どもたちの冒険心や好奇心をくすぐり、創造力を掻き立てる遊具としてタイヤと土管を用いた。



〈地形を利用した遊び場〉

広場中央の築山は東西両方向から利用できる遊具（スベリ台）として再生し、あそびの核としての役割を持たせた。

3. 東大泉児童遊園



〈安心できる公園づくり〉

利用者の要望を踏まえ、小さな子どもが安心して遊ぶことのできる「庭」づくりを目指した。閉鎖的で暗い印象のあった公園を、明るく、見通しの良い空間につくりかえた。



マンション緑地のリニューアルに関する一連の調査・計画

株式会社グラック 西山秀俊・白井浩司・高橋 彩・岸井悠子

□概要

一連の調査・計画は、経年変化により様々な問題を抱えるマンション緑地のリニューアルに、ランドスケープアーキテクトが樹木医や造園施工・管理会社などと協働して、居住環境と緑の良好な関係づくりに貢献している取組みである。

□マンション緑地の現状と課題

竣工後10～15年を経過したマンションでは、緑が大きく生長して、緑豊かな住環境をつくりだしている。一方、緑の生長（高木化・高密度化・高樹齢化）に伴う生活環境の悪化（日当たり・風通し・見通しの悪化、倒木の危険性など）や生長に見合った植栽管理費の不足、問題解決における居住者間の合意形成が難しく、有効な手立てを示すことができない、といった課題が

顕在化してきている。

□課題の背景

これまで、設計者が管理計画の策定まで関わるものが少なく、樹木の間引きなどを含めた中長期の視点に立った植物管理計画がほとんどなかった。また、毎年手入れをしているにもかかわらず、時としてその場しのぎ的な植物管理が行われたり、居住者要望に即した植物管理となっていないことにより、緑の生長に伴う問題が大きくなっている。ほかにも、植物の生長に見合う管理費を確保できないことや緑の価値の共有化に限界があり、管理組合で問題の改善を図るには、膨大な時間とエネルギーが必要であり、合意形成を図ることが難しい、といった背景がある。



防犯性の向上を図り、安心して安全に利用できる空間へのリニューアル事例

作品概要

作品名：マンション緑地のリニューアルに関する一連の調査・計画
 対象地：神奈川県内、埼玉県所沢市内
 発注：マンション管理組合
 事業概要：竣工後20年以上経過したマンション緑地の改善
 協働者等：(株)大場造園(施工及び工法、コスト縮減等の検討協力)
 (株)汎建築研究所(人工地盤上の計画設計及び改修設計協力)
 (有)大和園(施工及び工法、コスト縮減等の検討協力)
 計画・設計：(株)グラク(担当/西山秀俊, 白井浩司, 高橋 彩, 岸井悠子)
 事業期間：2005年8月～2008年4月

作品評

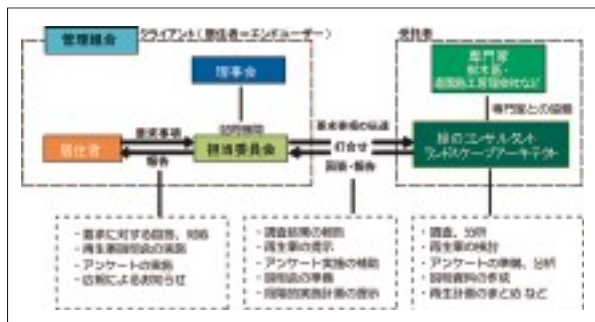
本調査は築20年以上を経過する集合住宅の緑の再生の進め方について、実際の事例を整理しながら取りまとめられたものである。対象は分譲の集合住宅であり、個々の調査業務のクライアントは管理組合という民間組織である。住空間の緑の再生の調査業務であり、且つ、民間からの受託という面では、先進的な事例である。個々の業務の進め方は、現況調査、住民意向調査、課題の整理、改修案の提案、改修スケジュールの作成が基本になっており、住民の方にもわかりやすく取りまとめている。また、アンケート調査を中心に居住者のほとんどの意向を把握整理しながら、管理組合との協議を通して住民の方々と十分な話し合いのもとに進められている。また、修復の重要な部分では、樹木医の診断や施工会社による工法チェック等の詳細な調査検討が盛り込まれ、施工に直結する調査としてきめ細かな配慮のもとに業務が進められていることも評価できる。しかし、緑の修復に対する提案が基本的には現状の課題の解決に重点が置かれており、緑の活用、緑のあり方等のさらに進んだ提案があれば、ランドスケープアーキテクトにふさわしい、充実した調査になったのではないかと考える。

プロジェクトの特色

クライアントが緑に関する専門知識を持たないマンションの管理組合(居住者)であり、エンドユーザーであるという点に特色がある。また、自らが積み立てた管理費を原資にして、合意形成やコンサルティングといったソフト技術の提供を依頼するという点、ランドスケープアーキテクトが常に専門的・客観的な視点から合意形成を図り、事業の推進を図るといった点においても特色があるといえる。

ランドスケープアーキテクトの関わり

緑に対する人それぞれに想いや考えがある中で、緑に関する専門家と協働して、専門的・客観的な視点から緑の状況を分析し、10年、20年後を見据えた将来像や改善策を立案し、合意形成を図る。また、資金計画も含めた中長期の改善計画を策定し、工事の発注手続きから監理、管理計画の策定といった一連のプロセスに関わることに加え、緑の役割や機能、緑のリニューアルをまちづくりの視点まで広げて啓蒙を図るところに、ランドスケープアーキテクトが関わる意義があると考えられる。



リニューアルの仕組みと役割



理解を促すためのツールの作成



リニューアルのプロセス



住民説明会



竣工記念イベント



ヌーヴェル赤羽台のランドスケープ

株式会社グラック 八色宏昌・並木 崇・岸井悠子

□対象地の概要

ヌーヴェル赤羽台は、昭和36年度より管理を開始した赤羽台団地の一部建替により、平成18年に完成した団地である。対象地は、JR赤羽駅の西部の武蔵野台地上に位置しており、周辺地域には、赤羽自然観察公園や武蔵野の崖線の緑地など、都市の骨格となる緑が見られる。

□対象地の地歴

江戸名所図会の「静勝寺」から、約170年前の対象地周辺には、豊かな起伏地形と水と緑の織り成す優れた風景がみられた。このことから、対象地が位置する台

地と、崖線、低地部の水を通したランドスケープの関係が見えてくる。

□デザインコンセプト

設計の目標は、対象地の土地が本来持つ、豊かな地形と水の関わりや地域の生物多様性の保全、現在の団地の状況から今後の団地のあり方を考え、「山の手台地」と「崖線」の水と緑と地形の再生」「赤羽地域のビオトープネットワークの形成と生物多様性保全」「コミュニティの成熟と少子高齢化への対応」の3つのコンセプトを設定した。



中庭の地こぶと草庭

作品概要

作品名：ヌーヴェル赤羽台
 所在地：東京都北区赤羽台一丁目・二丁目
 発注・設計企画：独立行政法人 都市再生機構東京都心支社
 計画・設計：(株)グラク（担当/八色宏昌, 並木 崇, 岸井悠子）
 調査協力：(株)地域環境計画
 監理：独立行政法人 都市再生機構東京都心支社
 施工：藤造園建設株式会社（担当/岩崎伸之）
 設計期間：2005年6月～2006年8月
 施工期間：2006年6月～2006年8月
 規模：約13,800㎡
 主要施設：施設（水盤、水路、水みち、空石積（新小松石）、植栽（新植（イヌシデ、エゴノキ他）、移植木（ムクノキ、イロハモミジ、クヌギ他）、移植草本群落（ススキ、ドクダミ、スゲ類他）

作品評

本作品は、地域の地形・水系・植生の分析を実施し、水循環システムを提案した結果、季節感にあふれた草木により多様な生き物の生態基盤を創出している。特に、周辺エリアを含めた緑と水のネットワークマスタープランの一部をパイロットプロジェクトとして具現化し、自然と触れ合う環境共生のまちを創出した。自走式立体駐車場の北側という動植物の生息環境としては好ましくないゾーンに、「陰」と「しめりけ」からなるエコトーンをみずみちの形成や表土移植という手法により作り上げたことは評価できるといえる。今後、周辺も含めたビオトープネットワークが完成した際は、集合住宅のリハビリテーションの好例として位置付けられるデザインといえる。

設計内容

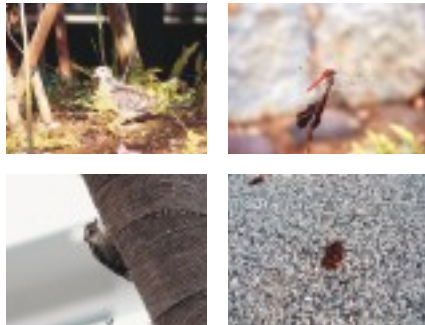
デザインコンセプトを具現化するにあたっては、中庭では、地こぶやエコトーンなどの地形により、「山の手の台地」と「崖線」のもつ豊かな地形を顕在化するとともに、その地形との関係から、自ずと水が集まり・流れ・浸透する水みちや水琴窟を配した。地形と水系に加えて、その基盤により創出される乾湿、明暗による多様な環境に適合する移植草本群落を含む草庭や既存木などを中心とした植生を創出した。

これらの水と緑と地形の再生により、環境に適合した多様な生きものが保全され、それらの総合空間が、ビオトープネットワークを形成し、居住者が365日間行んでも飽きのこない「自然のランドスケープ」になると考えた。

草木が日々変化し、季節感があふれ、生命のリズムが体感できる愉楽ある「自然のランドスケープ」は、高齢者の豊かなライフスタイルを支え、コミュニティを成熟する場になると考えた。



水みちと移植草本群落



竣工後の生きものの気配



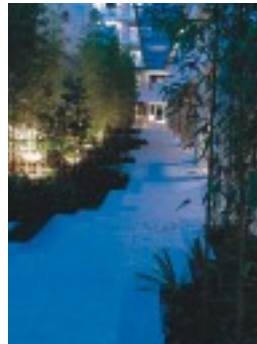
移植大径木のムクノキと中庭



雨水利用の長い水路と水盤



水盤



マダケの路地



全体平面図



びゅうヴェルジェ安中榛名

株式会社オオバ 萩野一彦・藤井孝信・菊谷 隆・小林理子・笠原武司・小野瀬雄一

びゅうヴェルジェ安中榛名は、都心から約120 km の位置にある田園地域の新幹線駅前において、都市でもリゾートでもない新しいライフスタイル、半田舎暮らしを提案した住宅地開発プロジェクトである。

□計画・設計プロセスにおける特徴

本業務は、土地利用効率重視であった既存のプランを見直し、住宅地環境の魅力創出を目的に、修正マスタープランを作成し、公園緑地等のランドスケープデザインを行ったものである。計画・設計プロセスにおける特徴は、公園緑地のデザイン以前に、骨格空間形成において重要な、街区構成、造成計画、道路計画等

を含むランドプランニングを行い、住宅地全体のマスタープランの策定を主体的に行ったことと、ランドスケープデザインの延長として、環境アート及び造園施工者との現場レベルでのデザイン調整の必要性が認められ、設計監理業務を行うことができたことが挙げられる。

□ランドスケープコンセプト

ランドスケープ的デザイン手法として、自然の原理に従いながら、その土地固有の文化である歴史に育まれた景観の中からヒントを探し出し、デザインに昇華させていくこととした。そのためのコンセプトを、「地



天空の丘

Photo : Koji Okumura

作品概要

作品名：びゅうヴェルジェ安中榛名
所在地：群馬県安中市秋間のりが丘1-1他
発注：東日本旅客鉄道株式会社上信越工事事務所
設計：株式会社オオバ
設計協力：株式会社環境美術研究所
有限会社街並工学研究所
監理：株式会社オオバ
施工：鉄建・西松建設共同企業体
設計期間：1999年9月～2003年12月
施工期間：1999年11月～2004年3月
規模：約48.6ha
主要施設：住宅地

作品評

本作品は、都心から約120km圏内に位置する田園地域の新幹線駅前という立地条件をもつ住宅地開発プロジェクトである。このプロジェクトでは、土地固有の文化である歴史に育まれた景観や風土を読み込んだランドスケープのアプローチをもって全体のマスタープランを策定し、地域内で発掘された遺跡による縄文のランドスケープ作法や、地域固有の棚田や集落等のデザインコードを活かした手法による統一性の高いデザインは評価できる。また、これら明確な骨格空間構成とルーラルランドスケープ手法により住環境向上を図りつつも、住宅地開発としての事業性向上（コスト及び宅地面積）も十分配慮した点も優れている。将来、この新たな名所づくりを行ったニュータウンが、地域に根ざした豊かなコミュニティと風土景観を形成していくことに期待する。

形をデザインする」、「樹木配置による空間創出」、「現地の自然石による特徴演出」、「眺望を活かしたデザイン」、「方位を明示したデザイン」とし、これらに従っ

たデザインを行うとともに、コラボレートの中での共通言語とし、全体的にデザインテイストの共有を図った。

○「ルーラルランドスケープ」による地域の名所づくり

- ・地域個性豊かな田園景観形成手法（ルーラルランドスケープ）を導入したランドスケープデザイン
- ・地域における空間構成や景観資源、景観要素のデザイン作法を発掘し、新たなまちづくりにおけるランドスケープデザインに活用
- ・地域の名所を創出し、周辺地域と一体となった誘客につなげる



▲妙義山と西上州の山々



▲計画地に隣接する棚田



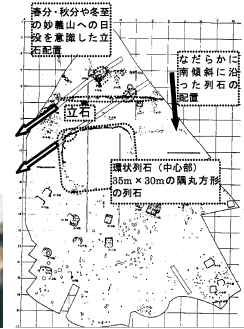
▲石積み（玉石）の外構



▲秋間梅林

○縄文時代のランドスケープ作法の活用

- ・現地遺跡にみる縄文時代ランドスケープ作法の引用
- ・出土された石の利用（始まりの丘での遺跡の再現）
- ・太陽の日没位置、東西・南北や冬至の日の出・日没を意識したデザイン



▲冬至の日没（妙義山）



▲環状列石と方位を示す立石



円居の丘から妙義山への軸線



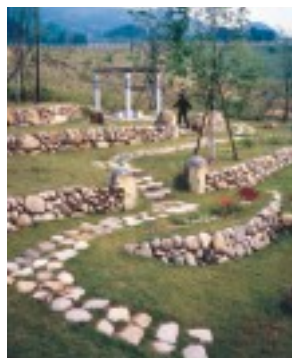
始まりの丘から妙義山へのピスタ



マスタープランと軸線の計画図



南中軸からの天空の丘



あらくさの丘



秋間坂（日ノ出軸）



星見の丘



四番町スクエア ～大正ロマンに出会うまちづくり～

玉野総合コンサルタント株式会社 岡村 淳・岩瀬暢康・川本敦子

□概要

彦根市で、新しく生まれ変わった「まち」四番町スクエア。以前は、建物の老朽化が目立つ商店街でした。そこで、市民、行政、学識者、各アーキテクトが力を合わせて「まち」をデザインし、このうち、私達は、「オープンスペース」や「みち」など、パブリックスペースのデザインを担当しました。

彦根市は、日本一大きな湖「琵琶湖」の東岸に位置

する歴史情緒があふれる街です。市のシンボルである彦根城は、国宝にも指定されており、井伊直弼の居城であったことでも有名です。

四番町スクエアは、この彦根城から南に約600 mの位置にあります。城から続く道は、夢京橋キャッスルロードと呼ばれ、江戸の街並みを模して整備されています。このため、江戸のまちと大正のまちを時間移動するような感覚にもひたることができます。



まちかどに設けられた広場

作品概要

作品名：四番町スクエア～大正ロマンに出会うまちづくり～
 所在地：滋賀県彦根市本町
 発注：彦根市本町土地区画整理組合・彦根市
 設計：玉野総合コンサルタント株式会社
 施工：株式会社高木造園 他
 設計期間：2002年10月～2003年10月
 施工期間：2003年2月～2006年3月
 規模：事業区域1.3ha
 主要施設：散策路、水景施設、照明、ベンチ、植栽

作品評

本プロジェクトは、商店街の再生を目的として商業施設などの建築施設と公共空間を一体的な空間デザインとして実践したプロジェクトである。

地元の区画整理組合や県立大学・彦根市とのコラボレーションにより設計を取りまとめたことは、道路機能を確保した上で、小広場と路地を有機的に配置することで賑わい感の創出を図っていることから感じられるものである。緑に関しては、計画論として周辺との連続性や地域のシンボルとなる樹木についてのコメントも必要と思われた。また、「大正ロマン」をデザインコンセプトとし、舗装やファニチャー関連の整備を併せて実行しているが、特に公共空間と建築の中間領域のデザインに関しては、デザインガイドラインの策定が望まれよう。尚、空間を構成する施設（街路灯や水景施設）の色や素材・プロポーシオンについて建築サイドと更なる意見交換を行う機会があれば、この空間はさらにブラッシュアップされたものとなるよう。

この大正ロマンのまちづくりにあたり、私たちは、「緑」、「ファニチャー」、「水」をデザインするとともに「みち」など、機能面にも配慮した設計を行いました。特に水については、日本一の大きな湖「琵琶湖」を有することから、豊かな水のイメージを感じることができるよう配慮しました。

デザインを考えるにあたり、大正時代に流行したア

ール・デコを意識したデザイン、あるいは西洋の影響を受けだした頃の和洋が混在したデザインなど、自らがその時代で生活しているといったイメージで計画しました。また、四番町スクエアは昼間、歩行者専用ですが、夜間は車両の通行も可能になります。植栽は、ファニチャーと車両との接触ができる限り発生しないよう、安全面にも配慮して配置しています。



水景施設とベンチ



水を身近に感じることができる



パティオ



照明灯



まちの中心部付近



脱色アスファルトと自然石による舗装



サムソンエバーランド ズートピア「フレンドリーモンキーバレー」

(株)プレック研究所 平野一哉・玉井邦治・木寺由香葉

「フレンドリーモンキーバレー」は、年間900万人を集客する韓国の巨大テーマパーク「エバーランド」内の動物園「ズートピア」に計画されたさまざまなサルを対象とする展示施設である。ズートピアは、テーマパークに設置された動物園であることから、日本でイメージされる公立動物園とはその考え方が大きく異なっている。ひとつは、動物園全体を一体化するテーマ・ストーリーの存在であり、もうひとつは、徹底的なエンターテインメント性の演出である。

ズートピアのストーリーは、環境破壊による気候大

変動で人類の文明が滅亡した後の世界を舞台にしており、わずかに生き残った動物と人間が力を合わせて理想的な環境（人間も含めた動物たちの楽園＝ズートピア）を作り上げる過程を表現している。このストーリーの中で、フレンドリーモンキーバレーは、廃墟となった宇宙開発研究所にサルたちが棲みつき、訪れる人間たちとのコミュニケーションを図る場として設定されている。

このストーリーを具体化するため、建築物は全面をモルタルによるエージングにより廃墟のイメージに演



斜面に設置されたアプローチデッキからの全景

作品概要

作品名：サムソンエバーランド ズートピア 「フレンドリーモンキーバレー」
 所在地：大韓民国 Samsung Everland (Yongin-si, Kyonggi-do)
 発注：SAMSUNG EVERLAND INC.
 設計：株式会社ブレック研究所
 設計協力：Madang Architect (実施図作成, 申請等)
 監理：SAMSUNG EVERLAND INC.
 施工：
 設計期間：2005年8月～11月
 施工期間：2007年3月
 規模：約6,000平方メートル
 主要施設：動物展示施設（屋内外）、飼育施設

作品評

本作品は、韓国のテーマパークにおける動物園ゾーンの一区域である猿類の展示施設のリニューアルである。
 本来、動物の生態的展示施設としての動物園と、エンターテイメントとしての非日常性を演出したテーマパークとは調和にくいものであるが、それを発想の転換により「未来の自然環境 (Nature, Future)」というテーマとストーリーを設定することで融合させるだけではなく、さらに環境教育としてのツールにまで昇華させていることは秀逸である。
 このメッセージ性の強いテーマを実現するための建築やランドスケープ全体にも、ストーリーに基づいたデザインが詳細なところまで破綻なく表現されている。また、高低差を利用し緑と一体となったグランドデザインもあわせて評価できる。
 この作品はテーマパークにおける動物園のあり方に新機軸を与えた作品といえるであろう。

出している。また、植物に侵食された建築を演出するため、壁面にモルタル造形による大木の根を造形するとともに、園路から建築へと至る動物放飼場部分に、既存木の活用を含め多くの植栽を施している。また、その植栽が建築のスクリーンとなるよう園路や放飼場の配置や高低差を工夫している。建築物は展示、飼育の各フロアを有する二層構造となっているが、斜面地を活用した半地下構造としたことや、背景となる北西

側樹林を積極的に取り込むことにより、廃墟としての樹林への埋没感を演出している。

放飼場には、動物が退屈せず豊かな生活をおくれるように、さまざまな遊具を配しているが、それらはロケット発射台、送電線など宇宙開発研究所の施設をイメージした形態とすることにより、ストーリーとの整合や景観の一体化を図っている。



入口ゲート、樹林の先に動物展示が展開される



破損した船体を演出したヒヒの展示施設



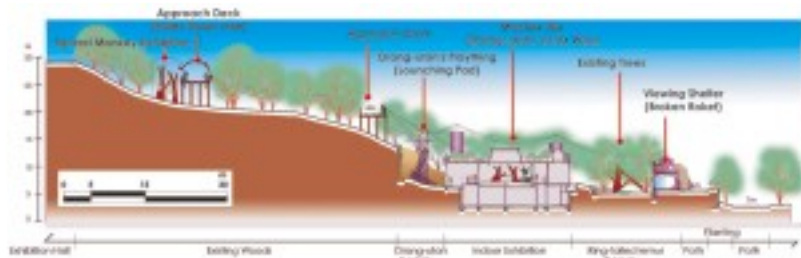
ニホンザルの温泉



全体平面図



既存樹により緑の中に埋没する建築物



断面図、背後の既存樹を活用した施設配置



送電線タワーで遊ぶオランウータン

山本紀久 (やまもと のりひさ)

1940年生まれ。東京農業大学卒業。73年㈱愛植物設計事務所設立。風土を表す「植物」を中心に、そこに関わる「生物」も含めた「生命体」に関する知識と体験を基軸にした「いきものランドスケープとマネージメント技術」の習得をめざす。土地の様相を見極めるための現場を重視し、調査～計画～設計～生産～施工～管理の「一貫性」を追求する。



調査～計画～設計

板垣範彦 (いたがきのりひこ)

1997年東京農業大学造園学科卒業。同年株式会社愛植物設計事務所入社。主な担当業務は工場緑化における沿岸の森づくり、河川や湖沼の水辺環境にかかわる設計など。ランドスケープアーキテクトとして、生き物である人を含めた自然がどうあるべきかを提案し、持続的な社会に貢献できたらよいと考えている。



藤田泰介 (ふじたたいすけ)

1976年愛植物設計事務所に入社し現在に至る。代表山本紀久と共に「人と生き物が共生する環境づくり」を実践。主な業務：東京ディズニーランド植栽設計・横浜国際競技場所植栽設計・WS方式による杉並区柏の宮公園設計。現在、柏の宮公園のボランティア活動に参加し、田んぼづくり等設計主旨を実践。



剣田和良 (けんたかずよし)

埼玉県出身。1999年東京農業大学卒業。同年、㈱グラク入社。美しい街並みに貢献する快適な空間づくりを目指す。主に街区公園や住宅団地の実施設計を手掛けるが分野を問わず設計に楽しさを見出す。登録ランドスケープアーキテクト (RLA)、一級造園・土木施工管理技士



白井浩司 (しらいこうじ)

1979年東京農業大学農学部造園学科卒業。登録ランドスケープアーキテクト (RLA)。同年、㈱グラク入社。「場」の特性を活かした、居心地の良い屋外空間づくりを目指す。さまざまなランドスケープの計画・設計に携わるが、特に住宅団地の計画・設計の実績が多い。



西山秀俊 (にしやまひでとし)

1992年東京農業大学農学部造園学科卒業。2000年㈱グラク入社。登録ランドスケープアーキテクト (RLA)。公園管理支援システム「Park Manager」の開発をはじめ公園緑地の管理運営、マンション緑地の再生などに携わる。時代を見据えたランドスケープの職能を模索し、実践することを目標に活動中。



高橋 彩 (たかはしあや)

2001年東京農業大学農学部造園学科卒業。同年株式会社グラク入社。主に住宅団地や公園の設計に従事。ひとがふと思いつく楽しい思い出や懐かしいことの背景がいい空間であるように、こころに残る空間をつくることを目指して日々格闘中です。



岸井悠子 (きしいゆうこ)

2005年東京農業大学造園学科卒業。同年、㈱グラク入社。商業施設のランドスケープデザインや臨海緑地のランドデザイン、公園リニューアルデザイン、マンション緑地再生計画等を担当。土地の魅力を引きだし、地域の人々に愛され続けるランドスケープデザインを目指している。



八色宏昌 (やいろひろまさ)

福井県出身。2002年東京農工大学大学院卒業。同年、㈱グラク入社。生きものや自然の素材を大切に扱い、個性を育て、美しくエイジングする場づくりを目指している。ヌーヴェル赤羽台、アーベインピオ川崎、石庭の森緑地などで設計を行っている。



並木 崇 (なみきたかし)

2005年武蔵工業大学環境情報学部卒業。同年、㈱グラク入社。ピオトープネットワーク計画やヌーヴェル赤羽台実施設計、黒川谷公園管理計画に従事。自然資源の特質を把握し、多様な生態系を保全した上で場づくりに携わることが目標。



萩野一彦 (はぎのかずひこ)

1960年東京生まれ。1982年千葉大学園芸学部環境緑地学科卒業。同年株式会社オオバ入社。現在同社環境デザイン部長代理兼ランドスケープ計画課長。登録ランドスケープアーキテクト (RLA)、技術士 (建設部門)。造園/ランドスケープを軸に、都市計画、土木、建築の領域に跨る仕事が多い。代表作：湘南国際村、びゅうヴェルジェ安中樺名、沖縄科学技術大学院大学 (施工中) など。



藤井孝信 (ふじいたかのぶ)

1982年東京農業大学造園学科卒業。同年株式会社オオバ東京支店入社。大規模住宅地のまちづくりから人と自然環境の共生の在り方、重要性を学ぶ、その後、公園緑地を中心とした環境施設整備に係る計画設計を行い、1997年千葉県少年自然の家整備基本設計に協会奨励賞を受賞。2004年10月より財団法人日本緑化センターにおいて、自然環境、生態系の保全・育成に係る調査・研究に携わる。技術士 (建設部門：建設環境)



菊谷 隆 (きくやたかし)

1965年生まれ。1987年日本大学理工学部土木工学科卒業。同年株式会社オオバ入社。住宅地等のまちづくり関連業務を経て、現在は主として公園緑地、都市空間等の計画設計業務に従事。主な代表作：沖縄科学技術大学院大学基本設計、酒匂川きらり広場、秦野今泉名水桜公園など。登録ランドスケープアーキテクト (RLA)、技術士 (建設部門：建設環境)。



小林理子 (こばやしあやこ)

1974年東京都生まれ。平成9年日本大学理工学部交通土木工学科卒業。同年株式会社オオバ入社。土木設計部において地盤関係の業務に携わった後、住宅地や都市施設 (駅前広場や公園) 等の空間デザインに関わる業務に携わる。現在は、主として住民参加による法定計画策定 (都市計画マスタープランや景観計画等) 業務を行っています。



笠原武司 (かさらはたけし)

1948年神奈川県横浜市生まれ。横浜市立鶴見工業高校卒。㈱オオバ東京支店 IMS 推進室。RCCM (都市及び地方計画) 大規模住宅団地のまちづくり、基盤整備設計等に従事。



小野瀬雄一 (おのせゆういち)

1968年茨城県生まれ。千葉工業大学工学部卒業後、平成3年株式会社オオバ入社。土木造成設計・道路設計・排水設計などの実施設計を中心に住宅地開発事業および土地区画整理事業に携わる。計画段階から積極的に参加し、地域特性や現場の環境を考慮した住みやすいまちづくりを心がけ仕事に取り組んでいる。



岡村 淳 (おかむらあつし)

1991年大阪芸術大学芸術学部卒業。現在、玉野総合コンサルタント(株)公園緑地課。主に公園や景観に関する業務を担当。「適度な主張と調和」を基本に、その場所に応じた風景づくりを行っている。技術士(都市および地方計画)



岩瀬暢康 (いわせのぶやす)

1969年愛知県生まれ。金沢工業大学工学部土木工学科卒業。同年玉野総合コンサルタント(株)入社。区画整理地内及び市街地のオープンスペースの実実施設計から、街並み景観及び歩行者道の修景設計、住民参加型のワークショップの他、農村自然環境整備事業による基本設計など都市部と農村部のランドデザインに従事し、関連機関との連携により施設・地域との結びつきに取り組んでいる。



川本敦子 (かわもとあつこ)

1992年駒澤大学文学部歴史学科卒業。同年玉野総合コンサルタント(株)入社。公園の計画設計や街路樹の管理計画など「緑」に関することに従事。土地の声、樹木の声、水の声、生き物の声、人の声。さまざまな声に耳を傾け、その場所の歴史を紐解き、新しい歴史を築いていきたいと考えています。



平野一哉 (ひらのかずや)

1963年生まれ。1986年千葉大学工学部工業意匠学科卒業。同年、株式会社ブレック研究所に入社。主に造園計画・設計、動物園の計画・設計に従事。技術士(総合技術監理部門:建設、建設部門:都市及び地方計画)。九州事務所参与



玉井邦治 (たまいくにはる)

1967年生まれ。1991年大阪芸術大学芸術学部環境計画学科卒業。同年、株式会社ブレック研究所に入社。主に都市公園、動植物園のランドスケープの計画・設計に従事。登録ランドスケープアーキテクト。技術士(建設部門:都市及び地方計画)。一級造園施工管理技士。中部事務所次長



木寺由香葉 (きでらゆかは)

1976年生まれ。1999年九州芸術工科大学芸術工学部環境設計学科卒業。同年、株式会社ブレック研究所に入社。主に造園計画・設計、文化財保存計画等に従事。登録ランドスケープアーキテクト。一級造園施工管理技士。九州事務所主査





CLA 賞の趣旨と募集・選考のあらまし

CLA 賞の趣旨



CLA 未来委員会委員長 枝吉 茂種

ランドスケープコンサルタンツ協会賞 (CLA 賞) は、会員の優れた作品や業務を顕彰し、協会内部だけでなく広く社会に紹介し、協会全体の発展に寄与していくことを目的として設けられたものである。

この賞は、ランドスケープ分野のプロフェッショナルが、会員の行ったランドスケープのプロの仕事を手前味噌にせず自ら真摯に評価し、優秀なものを選定するというシステムに特徴がある。プロがプロを手前味噌にせず自ら真摯に評価するというのは、言うは易いが実施はなかなか困難である。CLA 賞は25年余りの長きにわたってこの趣旨を継続しており、さまざまな顕彰制度の中で、希有な存在と評価されている。

これもひとえに会員の皆様の情熱、選考委員や技術委員の熱意に支えられてのことであり、担当者として深く感謝する次第である。

募集・選考のあらまし

今回も CLA 賞の募集・選考と活用の方針に基づき、2008年2月4日を応募期限として作品の募集、その後、選考委員会を開催し CLA 賞を決定した。

CLA 賞は毎年、「設計」「調査・計画」「表現・活動」の各部門とそれぞれの部門に一般部とテーマ部に分けて作品を募集しており、今年のテーマ部のテーマは、『「みどり」のリノベーション(renovation:改新,刷新,修復,再生)』として作品の募集を行った。

この趣旨は、市民と都市が抱える現下の諸問題の解決に向けて、都市のオープンスペース、とりわけ「みどり」の役割は大きくなっており、ランドスケープ分野においては、既に都市公園や緑地のリニューアル、里山の再生、文化遺産の修復など、新たな視点で既存ストックを再生させる多様なプロジェクトが動き始めている。

このような「みどり」のリノベーションプロジェクトについて空間スケールの大小にこだわらず幅広く、多くの作品の応募を行った。

作品の応募と選考結果

今年は、「表現・活動部門」への応募作品がなく、応募作品数は14作品と例年より少ない作品数でしたが、応募された作品は、いずれも優れた作品であったため、最優秀賞：1点、優秀賞：2点、奨励賞：3点、特別賞：1点の計7作品の作品が受賞となった。

応募作品数・選考結果は、下表の通り。

部	部門	応募数	最優秀賞	優秀賞	奨励賞	特別賞
一般	設計部門	6点	1点	該当なし	2点	1点
テーマ		6点	該当なし	1点	1点	該当なし
一般	調査・計画部門	0点	—	—	—	—
テーマ		2点	該当なし	1点	該当なし	該当なし
一般	表現・活動部門	0点	—	—	—	—
テーマ		0点	—	—	—	—

選考委員会

前述のとおり、選考委員会は、CLA 会員企業の技術者だけでなく、学識経験者なども加えて、客観的な視点も加味して選考に当たれるように人選を行った。選考委員の名簿は以下のとおりである。

1. 設計部門

- 委員長 北川明介 (㈱グラック)
- 委員 大橋尚美 (㈱戸田芳樹風景計画)
- 〃 金清典広 (高野ランドスケーププランニング㈱)
- 〃 関西剛康 (南九州大学環境造園学部)
- 〃 藤江哲也 (㈱三菱地所設計)
- 〃 丸山英幸 (㈱愛植物設計事務所)
- 〃 宮田倫夫 (理事)

2. 調査・計画部門

- 委員長 島田正文 (理事/日本大学生物資源学部)
- 委員 石井ちはる (㈱総合設計研究所)
- 〃 菊谷 隆 (㈱オオバ)
- 〃 武林晃司 (㈱緑景)
- 〃 宮入賢一郎 (㈱KRC)

3. 表現・情報部門

- 委員長 村岡政子 (㈱ライフ計画事務所)
- 委員 井上 元 (理事/㈱インタラクシオン)
- 〃 岡田信行 (㈱タム地域環境研究所)
- 〃 小林高浩 (㈱飯沼コンサルタント)
- 〃 杉井昌勝 (環境設計㈱)

※肩書きは、選考委員会開催当時

平成20年度支部連絡会議報告

支部連絡会議では、各支部から活動状況報告があり、今後の受注活動についての活発な意見交換が行われました。会議終了後は会場を移動して懇親会を行い、幹事相互の交流を深めました。

日 時：平成20年10月30日（木） 14:00—17:00

会 場：(社)ランドスケープコンサルタント協会 事務局

■各支部報告

①北海道支部

- ・「ガーデンアイランド北海道2008協賛コミュニティガーデンをつくる」事業報告
- ・(社)日本造園学会全国大会 協賛・協力、パネルセッション参加

②東北支部

- ・みちのく湖畔公園ワークショップ報告
- ・対外協力活動：(社)日本造園学会との学会発表検討（平泉の苑池構造）

③関東支部

- ・戦略的活動：2016年オリンピック招致活動の推進，校庭緑化への協力（東京都），震災復興公園元町公園保存活動への協力
- ・自治体に要請：低入札対策と品質管理，最低制限価格設定，RLAの資格活用
- ・事業協力：エコ・グリーンテック2008企画協力，東京ガーデンジュエリー企画運営協力

④中部支部

- ・支部設立20周年記念事業（記念式典・講演・機関誌・手作りアート大会等）
- ・RLA資格制度の支援

- ・学会関連，みどりの諸団体との連携によるセミナー等企画・開催

⑤関西支部

- ・第3回みどりのまちづくり景観賞の実施
- ・みどりの5団体合同フォーラム“グリーンサーカス2007”開催
- ・JICA研修への講師派遣
- ・技術講演会の開催，RLAセミナーの開催協力等
- ・街角サロンの企画・開催
- ・学生設計競技の開催

⑥九州支部

- ・「立体公園アイデア募集事業」実施
- ・(社)日本造園学会九州支部大会 協賛・参加

■今後の受注活動について

現場説明会の廃止，過大なサービス業務，低価格入札など現況の入札制度の課題と問題点について，各支部の状況を報告するとともに意見交換を行い，CLA会員登用の機会拡大，ランドスケープ関連業務におけるプロポーザル方式の適用など，九州支部の福岡市への要望書提出を例にし，今後の対応を検討しました。



社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会会員名簿

◎：会長 ○：副会長 ◇：常任理事

正会員（五十音順）						
会 員 名	電話番号	協会代表者	〒	所 在 地	FAX 番号	
(株)アーバンデザインコンサルタント	03-3353-1016	山口 隆 康	160-0022	新宿区新宿1-26-9 ビリーヴ新宿	03-3353-1018	
(株)アーバンデザインコンサルタント	092-589-0081	堤 八恵子	812-0888	福岡市博多区板付4-7-28	092-589-0080	
(株)愛植物設計事務所	03-3291-3380	山本 紀 久	101-0064	千代田区猿楽町2-4-11 犬塚ビル	03-3291-3381	
(株)あい造園設計事務所	03-3325-6660	○細谷 恒 夫	168-0063	杉並区和泉3-46-9 YS 第一ビル	03-3325-6262	
アジア航測(株)	03-3348-2261	赤土 攻	160-0023	新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル	03-3348-2231	
(株)荒木造園設計	0727-61-8874	荒木 美 眞	563-0024	池田市鉢塚2-10-11	0727-62-8234	
(株)荒谷建設コンサルタント	082-292-5481	矢野 順 也	730-0831	広島市中区江波西1-25-5	082-294-3575	
(株)アルファ計画研究所	045-263-3091	熊井千代治	231-0065	横浜市中区宮川町3-83 イワサキビル	045-263-3094	
(株)飯沼コンサルタント	052-451-3371	◇飯沼 忠 道	453-0803	名古屋市中村区長戸井町4-38	052-451-6813	
(株)稲垣ランドスケープデザイン研究所	042-335-5671	稲垣 丈 夫	183-0027	府中市本町4-10-4	042-335-5695	
(株)ウエスコ	086-254-2433	永山 彰	700-0033	岡山市島田本町2-5-35	086-256-5161	
(株)エーシーイー	03-3952-3171	玉村 寿 秀	165-0024	中野区松が丘2-32-19	03-3952-3177	
(株)エキープ・エスパス	03-3407-4368	峰岸 久 雄	107-0062	港区南青山5-4-29	03-3407-4419	
(株)エス・イー・エヌ環境計画室	06-6373-4117	三宅 祥 介	530-0014	大阪市北区鶴野町4-11-1106	06-6373-4617	
(株)LAU公共施設研究所	03-3269-6711	山本 忠 順	162-0801	新宿区山吹町352-22 グローサユウ新宿	03-3269-6715	
(株)オオバ	03-3460-0117	萩野 一 彦	153-0042	目黒区青葉台4-4-12-101	03-3460-1400	
(株)オリエンタルコンサルタンツ	03-6311-7857	宮内 和 則	150-0036	渋谷区南平台町16-28 グラスシティ渋谷	03-6311-8026	
(株)環境・グリーンエンジニア	03-5209-3691	杉浦 力	101-0041	千代田区神田須田町2-6-5 OS'85ビル	03-5209-3696	
(株)環境事業計画研究所	075-703-7531	吉村 龍 二	606-8166	京都市左京区一乗寺庵野町33-1	075-703-7530	
環境設計(株)	06-6261-2144	井上 芳 治	541-0056	大阪市中央区久太郎町1-4-2	06-6261-2146	
(株)環境設計研究室	03-3584-1251	川瀬 篤 美	107-0052	港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー本館11階	03-3584-1877	
(株)環境デザイン研究所	03-5575-7171	中山 豊	106-0032	港区六本木5-12-22 永坂ビル	03-5562-9928	
(株)環境緑地設計研究所	078-392-1701	松下 慶 浩	650-0024	神戸市中央区海岸通2-2-3 サンエービル	078-392-1576	
(株)環研究所	06-6306-2481	大石 博	532-0011	大阪市淀川区西中島6-8-20 花原第7ビル	06-6303-8614	
キタイ設計(株)	0748-46-4902	梶 雅 弘	521-1398	蒲生郡安土町上豊浦1030	0748-46-5620	
(株)空間創研	075-353-6337	◇吉田 昌 弘	600-8239	京都市下京区東堀川通下魚ノ棚下る鎌屋町23番地 シンエイ堀川ビル	075-353-6338	
(株)空間文化開発機構	06-6229-0130	真鍋 建 男	541-0046	大阪市中央区平野町1-8-8 平野町安井ビル	06-6229-1292	
(株)グラック	03-3249-3010	枝吉 茂 種	103-0004	中央区東日本橋3-6-17 山一織物ビル	03-5645-7685	
(株)KRC	026-285-7670	宮入賢一郎	381-2217	長野市稲里町中央3-33-23	026-254-7301	
(株)景観設計研究所	06-6444-7701	山田 直 樹	550-0006	大阪市西区江之子島1-5-3 中央興業ビル	06-6444-7731	
(株)景観設計・東京	03-5435-1170	都田 徹	141-0031	品川区西五反田3-8-3 町原ビル	03-5435-0909	
(株)景観プランニング	028-650-3030	阿部 訓 安	320-0036	宇都宮市小幡1-3-16	028-650-3034	
(株)国土開発センター	076-233-5333	小川 秀 一	920-0031	金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル	076-233-5777	
サンコーコンサルタント(株)	03-3683-7152	有賀 一 郎	136-8522	江東区亀戸1-8-9	03-3683-7116	
(株)シビックデザイン研究所	03-3226-9821	出来 正 典	160-0022	新宿区新宿1-13-11 シブヤビル	03-3226-9815	
(株)新日本コンサルタント	076-436-2111	西田 宏	930-0142	富山市吉作910-1	076-436-2260	
(株)スペースビジョン研究所	06-6942-6569	宮前 保 子	540-0012	大阪市中央区谷町2-9-3 ガレリア大手前ビル	06-6942-6897	
セントラルコンサルタント(株)	03-5117-1067	進藤 郁 生	104-0042	中央区入船1-4-10	03-5117-1086	
(株)ZEN 環境設計	092-643-5500	◇中村 久 二	812-0053	福岡市東区箱崎1-32-40	092-643-5520	
(株)爽環境計画	03-3829-4691	木村 隆	130-0013	墨田区錦糸3-7-11 メゾン・ド・ファミリー	03-3829-4692	
(株)創建	052-682-3848	井上 忠 佳	456-0018	名古屋市熱田区新尾頭1-10-1	052-682-3015	
(株)総合計画機構	06-6942-1877	◇糸谷 正 俊	540-0012	大阪市中央区谷町2-2-22 NS ビル	06-6942-2447	
(株)総合設計研究所	03-3263-5954	木村 弘	102-0072	千代田区飯田橋4-9-4 飯田橋ビル1号館	03-3263-7996	
(株)総合庭園研究室	03-3300-1524	中島 寛 久	182-0003	調布市若葉町1-35-5 フォレストヒルズ仙川	03-3300-4749	
創和エクステリヤ(株)	045-662-8028	風間 伸 造	231-0014	横浜市中区常盤町2-11 大宗トキワビル	045-662-8664	
第一復建(株)	092-575-1047	畠山 美 久	816-0094	福岡市博多区諸岡1-7-25	092-575-1673	
大日本コンサルタント(株)	0489-88-8119	伝谷 恵 一	343-0851	越谷市七左町5-1	0489-88-3115	
高野ランドスケーププランニング(株)	0155-42-3181	金清 典 広	080-0344	河東郡音更町字万年西1線37番地 旧チネル小学校	0155-42-3863	
玉野総合コンサルタント(株)	052-979-9111	田部井伸夫	461-0005	名古屋市東区東桜2-17-14 新栄町ビル	052-979-9112	
(株)タム地域環境研究所	03-5345-5745	秋山 寛	165-0026	中野区新井2-30-4 IFO ビル	03-5345-5747	

会 員 名	電話番号	協会代表者	〒	所 在 地	FAX 番号
(株)地域計画建築研究所	06-6942-5732	畑 中 直 樹	540-0001	大阪市中央区城見1-4-70 住友生命OBPプラザビル	06-6941-7478
(株)地球号	06-6945-7566	中 見 哲	540-0031	大阪市中央区北浜東6-6 アクアタワー	06-6945-7595
中央コンサルタンツ(株)	052-551-2541	藤 本 博 史	451-0042	名古屋市西区那古野2-11-23	052-551-2540
中電技術コンサルタント(株)	082-256-3357	菊 原 伴 幸	734-8510	広島市南区出汐2-3-30	082-254-0661
(株)東京ランドスケープ研究所	03-5988-2800	小 林 治 人	161-0033	新宿区下落合4-25-18 目白ハイビル	03-5988-2811
東武計画(株)	03-3986-1871	長 尾 和 守	170-0013	豊島区東池袋2-18-7 石川ビル	03-3980-1043
(株)ドーコン	011-801-1535	大 塚 英 典	004-8585	札幌市厚別区厚別中央1条5-4-1	011-801-1536
(株)都市環境ランドスケープ	06-6946-9588	波 多 野 芳 紀	540-0034	大阪市中央区島町2-4-9 島町第二野村ビル	06-6946-9747
(株)都市計画研究所	03-3669-8821	佐 藤 憲 璋	103-0014	中央区日本橋蛸殻町2-13-5 美濃友ビル	03-3669-8924
(株)トデック	03-5638-2176	越 智 常 博	135-0007	江東区新大橋1-8-11 三井生命新大橋ビル	03-5638-2168
(株)ナカタ空間企画	06-6930-4890	中 田 政 廣	536-0015	大阪市城東区新喜多1-2-17-104	06-6930-4896
中日本建設コンサルタント(株)	052-232-6032	中 西 秀 伸	460-0003	名古屋市中区錦1-8-6	052-221-7827
(株)中根庭園研究所	075-465-2373	中 根 史 郎	616-8013	京都市右京区谷口唐田ノ内町1-6	075-465-2374
(株)虹設計事務所	03-3419-7259	光 益 尚 登	154-0023	世田谷区若林1-1-18	03-3419-7246
(株)日建設計	03-5226-3030	根 本 哲 夫	102-8117	千代田区飯田橋2-18-3	03-5226-3053
(株)日水コン	03-5323-6200	小 林 昌 毅	163-1122	新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー	03-5323-6480
(株)日本海コンサルタント	076-243-8258	大 脇 豊	921-8042	金沢市泉本町2-126	076-243-0887
日本技術開発(株)	03-5385-5111	川 尻 幸 由	164-8601	中野区本町5-33-11 中野清水ビル	03-5341-8525
(株)日本総合計画研究所	03-3254-9668	星 野 嘉 郎	101-0047	千代田区内神田3-2-1 栄ビル	03-3254-6714
(株)ニュージェック	06-6374-4032	出 口 直 彦	531-0074	大阪市北区本庄東2-3-20	06-6374-5147
パシフィックコンサルタンツ(株)	042-372-6530	西 上 律 治	206-8550	多摩市関戸1-7-5	042-372-6349
(株)フジランドスケープ	03-5719-2919	◇新 井 豊	141-0031	品川区西五反田3-8-17 宮野沢ビル302	03-6410-8135
(株)復建技術コンサルタント	022-262-1234	◇岩 渕 善 弘	980-0012	仙台市青葉区錦町1-7-25	022-265-9309
復建調査設計(株)	082-506-1853	真 鍋 章 良	732-0052	広島市東区光町2-10-11	082-506-1890
(株)ブレック研究所	03-5226-1101	黛 卓 郎	102-0083	千代田区麴町3-7-6 麴町 PREC ビル	03-5226-1112
(株)ヘッズ	06-6373-9369	◎大 塚 守 康	530-0022	大阪市北区浪花町12-24 創建天六ビル	06-6373-9370
北海道造園設計(株)	011-758-2261	◇及 川 渉	060-0807	札幌市北区北7条西2-6 山京ビル	011-709-5341
(株)ポリテック・エイディディ	03-3456-3013	徳 丸 秀 夫	105-0014	港区芝1-5-12 TOP 浜松町ビル	03-3456-3015
(株)三菱地所設計	03-3287-5750	深 尾 周 一	100-0005	千代田区丸の内3-2-3 富士ビル	03-3287-3230
(株)緑設計	0188-62-4263	板 垣 清 美	010-0973	秋田市八橋本町4-10-26	0188-62-4273
(株)緑の風景計画	03-3422-9511	福 添 隆 二	154-0012	世田谷区駒沢2-6-16	03-3422-9530
(株)森緑地設計事務所	03-3585-8361	藤 内 誠 一	106-0044	港区東麻布1-4-3 木内第2ビル	03-3582-2758
(株)和計画コンサルタント	03-3374-2227	鈴 木 司	151-0071	渋谷区本町5-42-10 第2富喜マンション	03-3374-2559
(株)UR リンケージ	03-6214-5740	長 瀬 靖	103-0027	中央区日本橋1-5-3 日本橋西川ビル	03-3272-6017
(株)ライフ計画事務所	03-5626-4741	鍵 山 喜 昭	136-0071	江東区亀戸2-36-12	03-5626-4740
(株)LAT	082-273-2605	山 木 靖 雄	733-0821	広島市西区庚午北2-1-4	082-271-2230
(株)ランズ計画研究所	045-322-0581	川 島 保	220-0004	横浜市西区北幸2-10-27 東武立野ビル	045-322-0719
(株)ランテック計画事務所	06-6945-0065	中 尾 幸 彦	540-0031	大阪市中央区北浜東2-18 堀川ビル	06-6945-0124
(株)リアライズ造園設計事務所	06-6941-1151	新 井 英 光	540-0038	大阪市中央区内淡路町2-1-7	06-6941-1154
(株)緑景	06-6763-7167	瀬 川 勝 之	542-0064	大阪市中央区上汐1-4-6 吉井ビル	06-6765-5599
(株)緑生研究所	042-499-7211	○井 上 康 平	182-0026	調布市小島町2-40-10 桐生ビル	042-487-4334
準会員 (五十音順)					
(有)エコシビルデザイン	03-5362-3701	上 村 央	160-0016	新宿区信濃町11-3 AK 信濃町ビル	03-5362-3702
(株)エコル	03-5791-2901	庄 司 悦 雄	108-0074	港区高輪3-4-1 高輪階成ビル	03-5791-2902
扇精光(株)	095-839-2111	池 田 正 志	851-0134	長崎市田中町585-4	095-839-2311
(株)環境緑地研究所	011-221-4101	小 川 興 司	060-0004	札幌市中央区北4条西6-1-1 毎日札幌会館	011-221-4237
(株)現代ランドスケープ	06-6203-1270	西 辻 俊 明	541-0047	大阪市中央区淡路町2-1-10 ユニ船場	06-6203-1271
(株)サイプレス・ランドスケーププランニング	011-826-6485	中 村 圭 吾	002-8072	札幌市北区あいの里2条4-9-12	011-826-6487
(株)シビテック	011-816-3001	笹 浪 徹 也	003-0002	札幌市白石区東札幌2条5-8-1	011-816-2561
(株)シャトーシービー	0268-62-3255	細 谷 順 義	389-0502	東御市鞍掛383-9	0268-62-3256
(株)スタジオアーバンスペースアート	06-6845-9671	柳 原 壽 夫	560-0041	豊中市清風荘1-5-1 関西地販	06-6845-9672
(株)セット設計事務所	042-324-0724	池 田 与 志 雄	185-0012	国分寺市本町2-16-4	042-324-3468

会 員 名	電話番号	協会代表者	〒	所 在 地	FAX 番号
グイシン設計(株)	011-222-2325	関 利 洋	060-0005	札幌市中央区北 5 条西6-1-23	011-222-9103
(株)塚原緑地研究所	043-279-8005	塚 原 道 夫	261-0011	千葉県美浜区真砂3-3-7	043-279-8142
(株)辻本智子環境デザイン研究所	0799-72-0216	辻 本 智 子	656-2401	淡路市岩屋3000-176	0799-72-0217
(株)東京建設コンサルタント	03-5980-2633	和 田 淳	107-0004	豊島区北大塚1-15-6	03-5980-2601
(株)都市ランドスケープ	03-5269-8982	内藤英四郎	162-0065	新宿区住吉町5-7 曙橋ハイム鍋倉	03-5269-8982
(株)都市・景観設計	06-6228-3388	奥 村 信 一	541-0041	大阪市中央区北浜1-1-21 第 2 中井ビル	06-6228-3387
(有)パーク総合デザイン	075-343-4436	松 原 法 昭	600-8357	京都市下京区猪熊通 5 条下る柿本町595-28	075-343-4870
(株)ライヴ環境計画	011-204-7922	有 山 忠 男	060-0042	札幌市中央区大通西14-1-13 北日本南大通ビル	011-204-7955
(株)ランドスケープ・コア	092-541-8845	田 中 信 敏	815-0033	福岡市南区大橋2-2-1 マルイビル	092-541-8885
(株)緑住環境計画	042-525-4560	松岡二三夫	190-0023	立川市柴崎町3-10-10 T Yビル立川	042-525-4561
(株)緑政計画研究所	03-3265-8482	飯 塚 良 一	101-0065	千代田区西神田2-4-1 東方学会新館	03-3265-8483
賛助会員 (五十音順)					
アゴラ造園(株)	03-3997-2108	高橋正之輔	179-0075	練馬区高松6-2-18	03-3997-2252
(株)アボックス社	0467-45-5119	長尾重虎	247-0056	鎌倉市大船2-14-13	0467-45-6591
荒木窯業(株)	0942-27-3231	福 山 茂	830-0063	久留米市荒木町荒木823	0942-27-3234
石黒体育施設(株)	052-757-4030	石 黒 和 重	464-0848	名古屋市千種区春岡2-27-18	052-763-8110
(株)ウォーターデザイン	03-3431-8070	流 郷 幹 男	105-0004	港区新橋6-9-2 新橋第一ビル	03-3431-8116
内田工業(株)	052-352-1811	内 田 裕 郎	454-0825	名古屋市中川区好本町3-67	052-351-1326
内山緑地建設(株)東京支社	03-3523-1140	飯 森 嘉 則	104-0032	中央区八丁堀2-11-7 MC 八丁堀ビル	03-3523-1138
(株)岡部	0764-41-4651	竹 中 祐 利	930-0026	富山市八人町6-2	0764-31-6340
海水化学工業(株)	0835-22-4787	常 森 喬 紀	747-0833	防府市大字浜方535番地	0835-22-1175
共立金属工業(株)	06-6304-1271	菅 野 正 道	532-0011	大阪市淀川区西中島4-2-21	06-6305-1229
小岩金網(株)	03-5828-7691	島 倉 邦 彦	111-0035	台東区西浅草3-20-14 JNT ビル	03-5828-7687
(株)コトブキ タウンスケープ営業本部	03-5280-5400	上野山直樹	101-0062	千代田区神田駿河台1-2-1	03-5280-5768
(株)サイエンス 営業本部	03-3284-0501	小 山 幹 雄	101-0044	千代田区鍛冶町1-9-4 KYY ビル	03-3284-0504
(株)サカエ	0422-47-5981	栗 田 嘉 嗣	181-0004	三鷹市新川4-7-19	0422-49-2122
(株)サトミ産業	0258-35-3005	佐 藤 勉	940-0864	長岡市川崎5-495	0258-34-2513
(株)三英 景観事業部	04-7153-3141	尾 山 弘 善	270-0133	流山市十太夫108-1	04-7153-3146
(株)三榮企業	042-386-8760	長 嶋 孝 衛	184-0014	小金井市貫井南町4-11-36	042-386-8761
(株)サンエス	042-564-1021	横 倉 登	207-0022	東大和市桜が丘4-322	042-565-7239
(株)ジオスケープ	03-3588-5990	須 田 清 隆	105-0001	港区虎ノ門2-2-5	03-3588-5991
西武造園(株)	03-3989-2751	安 藤 義 之	171-0022	豊島区南池袋1-16-15 西武鉄道池袋ビル	03-3989-2795
泉陽興業(株)	06-6632-1051	糸 井 雅 明	556-0016	大阪市浪速区元町1-8-15	06-6632-1060
大永ドリーム(株)	027-269-6084	永 島 勝 治	371-0131	前橋市鳥取町158-7	027-269-6086
太陽工業(株) 空間デザインカンパニー	03-3714-3461	坂 手 素 行	153-0043	目黒区東山3-16-19	03-3791-7731
タカオ(株)	0849-55-1275	高 尾 典 秀	720-0004	福山市御幸町中津原1787-1	0849-55-2481
(株)立山エンジニアリング	03-3449-6831	岩 撫 徳 昭	141-0022	品川区東五反田1-8-12 小原サンデンビル	03-3449-6837
チッソ旭肥料(株)	03-3814-6316	伊 賀 崎 保	112-0004	文京区後楽1-7-12 林友ビル	03-3814-6327
(株)中京スポーツ施設	0561-53-1111	大 内 田 博	488-0022	尾張旭市狩宿新町2-27	0561-53-1000
テック大洋工業(株)	03-5703-1441	飯 田 博 之	144-0052	大田区蒲田4-22-8	03-5703-1444
東亜道路工業(株)	03-3405-1813	田 中 秀 明	106-0032	港区六本木7-3-7	03-3405-4210
トースイ(株)	03-5276-1101	星 野 弘 壽	102-0093	千代田区平河町1-7-7	03-5276-1117
東邦レオ(株)	06-6767-1110	木 田 幸 男	540-0005	大阪市中央区上町1-1-28	06-6767-1263
トーヨーマテラン(株)	0568-88-7080	池 上 英 雄	480-0303	春日井市明知町1512	0568-88-3370
中村シラトリ(株)	0543-35-6271	石 田 勝 若	424-0911	静岡市清水区宮加三660番地	0543-35-6273
(株)中村製作所	047-330-1111	朝 倉 辰 夫	271-0093	松戸市小山510	047-330-1119
(株)ナベシマ	093-617-3039	鍋 島 康 夫	807-1262	北九州市八幡西区野面1101-1	093-617-3040
日都産業(株)	03-5397-0210	結 城 健 治	167-0053	杉並区西荻南1-1-9	03-5397-0631
日本興業(株)	087-894-1022	多 田 綾 夫	769-2101	さぬき市志度4614-13	087-894-0603
日本体育施設(株)	03-5337-2616	奥 裕 之	164-0003	中野区東中野3-20-10 ケイエム中野ビル	03-5337-2610
長谷川体育施設(株)	03-3422-5331	花 田 隆	154-0004	世田谷区太子堂1-4-21	03-3412-8415
花豊造園(株)	075-341-2246	山 田 昌 次	600-8361	京都市下京区大宮通五条下る二丁目堀之上町518番地	075-361-0961

会 員 名	電話番号	協会代表者	〒	所 在 地	FAX 番号
㈱日比谷アメニス	03-3453-2401	奥本 寛	108-0073	港区三田4-7-27	03-3453-2426
福原商事㈱	048-252-3351	福原 精	332-0021	川口市西川口3-23-14	048-252-0600
㈱富士植木	03-3265-6731	成家次男	102-0074	千代田区九段南4-1-9	03-3265-3031
北三㈱	03-3521-2111	大関利之	136-0082	江東区新木場1-7-6	03-3521-6644
㈱ホクショウ	0956-48-8102	岩崎英喜	858-0907	佐世保市棚方町221-2	0956-48-8111
㈱丸山製作所	03-3637-4340	丸山智正	136-0071	江東区亀戸7-5-1	03-3683-7553
㈱みぞい	022-255-9770	溝井敏男	983-0821	仙台市宮城野区岩切字畑中5-9	022-255-5546
ミロモックル産業㈱	06-6390-0102	西森洋史	532-0011	大阪市淀川区西中島5-9-6-801	06-6307-2133

■トピック■

東京五輪招致に英知を結集，第3回目シンポジウム

社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会(以下、CLA)は去る10月29日、東京都千代田区・日比谷公園の水と緑の市民カレッジにおいて、シンポジウム「スポーツと環境都市の未来を考える」を開催した。

シンポジウムでは最初に、石川幹子東京大学大学院工学系研究科教授が「五輪開催と東京の水と緑の骨格づくり」について、続いて雑賀真 NPO 法人東京オリンピック・パラリンピック招致委員会事務次長が「2016年東京五輪競技大会の概要」について基調講演を行った。

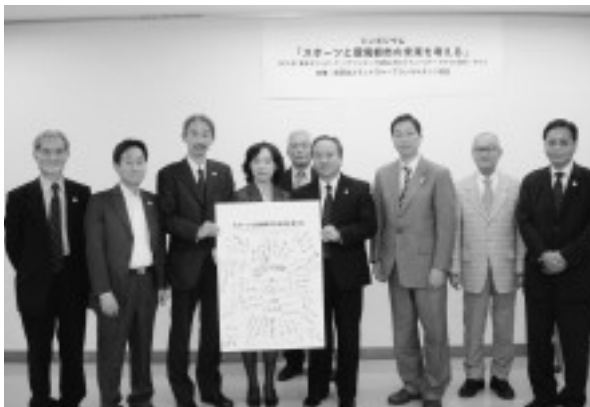
その後、石川教授をコーディネーターとして、雑賀氏のほか、小口健蔵東京都建設局公園緑地部公園計画担当部長、佐藤由夫日本自由時間スポーツ研究所長、大塚守康 CLA 会長をパネリストに加え、熱気あるパ

ネルディスカッションが行われた。

小口氏からは行政の立場から緑や景観の施策について、佐藤氏からはスポーツの視点からの環境づくりについて、大塚氏からはランドスケープコンサルタントの代表としての報告がなされ、会場からも意見が集められ披露された。

未来に対しレガシーとなるような五輪開催として、夢のある方向性が示されたことで、参加者は五輪開催に向け強い決意を認識した。

CLA では、これまで東京都が作成した「10年後の東京」の実現をサポートするため、いくつかのランドスケープ提言や五輪招致支援活動を行ってきたが、今回のシンポジウムは3年目3回目に当たる。



石川幹子東京大学大学院教授を中心に集った関係者



講演に耳を傾ける参加者

シンポジウム「スポーツと環境都市の未来を考える」開催団体

主催：(社)ランドスケープコンサルタンツ協会

後援：東京都建設局、(NPO)東京オリンピック・パラリンピック招致委員会、(社)日本造園学会、(社)日本公園緑地協会、(社)インタラクシオン

協賛：(社)日本造園建設業協会、関東甲信総支部、(社)日本造園建設業協会東京支部、(社)日本造園組合連合会、(社)日本公園施設業協会東京支部、(社)日本植木業協会、(社)東京都造園緑化業協会、(有限責任中間法人)日本運動施設建設業協会、造園・環境緑化産業振興会、東京ガーデンジュエリー2008実行委員会、(NPO)渋谷・青山景観整備機構

2008年 RLA 資格認定試験 合格者受験番号一覧

セクション1 合格者受験番号

30001	30003	30005	30006	30007	30009	30011	30013	30015	30019
30024	30026	30027	30030	30031	30032	30033	30034	30035	30036
30039	31001	31003	31005	31007	60004	60008	60009		

セクション2 合格者受験番号

30001	30003	30006	30007	30009	30011	30012	30015	30017	30020
30024	30025	30026	30028	30030	30031	30033	30034	30035	30036
31001	31003	31014	31017	31018	31019	60009	61009	61012	61013
61014	61015	61016							

セクション3 合格者受験番号

30003	30005	30006	30007	30008	30009	30010	30011	30013	30014
30015	30017	30019	30020	30022	30023	30024	30026	30027	30028
30030	30031	30032	30033	30034	30036	30040	31003	31006	31007
31011	31016	60001	60004	60005	60008	60009			

セクション4 合格者受験番号

30001	30003	30006	30007	30009	30010	30011	30015	30016	30018
30019	30020	30022	30023	30024	30026	30027	30028	30030	30031
30033	30034	30036	31006	31014	31023	31026	31029	60008	60009
61009	61012	61013	61018						

〈編集後記〉

アメリカを震源にした金融危機が世界をゆるがし、IPCCの第四次報告書では、急激な気候変動は人間活動による温室効果ガスの増加に起因する温暖化と明確に関連付け、厳しい現実を突きつけている。本号はCLA賞の特集号で入賞作品はいずれも優れた作品ばかりである。21世紀を迎えた今日、あらゆる都市は持続可能な環境都市へと大改造していくことを要請されている。

「みどりの都市づくり」は、それぞれの土地のもつ資質と歴史を活かしな

がら、人々や都市にとって望ましい空間・環境を提示していく技術である。われわれは専門家として、今こそ明確な緑のヴィジョンを提示する時期にきている。

これからのCLAジャーナルの編集方針は、多様な緑のヴィジョン提示を核に、各支部の参画を積極的に考え、優れた作品の紹介、支部情報・交流等ランドスケープ専門家の存在を強力にアピールするツールとして育てていきます。(細谷恒夫)

2008 No. 166

CLA journal

再生紙を使用しています。

発行日●2008年12月15日

発行人●大塚守康

編集●社ランドスケープコンサルタンツ協会
広報委員会

発行所●社ランドスケープコンサルタンツ協会
〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7
一番町村上ビル

TEL 03-3237-7371 FAX 03-3239-7610

<http://www.cla.or.jp>